

被害者支援 ニュース



認定特定非営利活動法人
全国被害者支援ネットワーク

第16号

2015.3.20 発行

認定特定非営利活動法人
全国被害者支援ネットワーク
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-14-10
東京外国語大学本郷サテライト 6階
TEL 03-3811-8315 FAX 03-3811-8317
ホームページ <http://www.nnvs.org/>

- 巻頭言 全国被害者支援ネットワークに期待すること～理事就任1年の所感～ 1
- 特集 インタビュー
被害者支援におけるカウンセリングの役割 2～4
- 寄稿 北欧（ノルウェー・スウェーデン）における被害者支援制度調査旅行記 5
- センター紹介 被害者サポートセンターおかやま 6
- 用語解説 「被害者参加制度」と「被害者参加人のための国選弁護士制度」 7
- 「もしものためにそなえる手帳」と「被害者の声しおり」の制作・配布 8
- 編集後記 8

巻頭言

全国被害者支援ネットワークに期待すること ～理事就任1年の所感～

認定特定非営利活動法人 全国被害者支援ネットワーク
理事 ● 村山 敦

被害者支援活動には、直接かかわりが無かったので、一般人の視点でと割り切って、昨年ネットワークの理事をお引き受けしてから、そろそろ1年になろうとしている。理事会には出席しているものの、さしたるお手伝いもできず忸怩たるものがあるが、事務局のお求めもありここまで感じたことの一部を述べてみたい。

ほとんど予備知識を持たず、被害者支援活動とその歴史の一端に触れ、ひとりの市民として感銘を受け、深い敬意を抱いたことをまずは申し上げなければならない。

我が国の被害者支援は、国費による給付金の支給が先行し、被害者の人権を基本において その心に寄り添う取り組みは10年遅れで始められたこと、そして、最初の東京における取り組みにおいても、さらにそれ以後の民間被害者支援組織それぞれのスタートにおいても、多かれ少なかれ、自ら立ち上がった被害者や、それを受け止めて行動した有識者や研究者、行政の中の先駆的な人々等の献身的な努力があって、ようやく生み出されてきた歴史があることについて、あらためて認識した次第である。

多くの人に支えられ、NNVSが結成されてからも、すでに16年余が経過した。

新参加者が誤解を恐れず言うと、今ネットワークを取り巻く状況は、必ずしも悪くはないと見るべきであろう。

世間にはボランティアに支えられてなお苦勞している福祉団体や文化団体はたくさんある。それに比べれば、NNVSはしっかりした基盤に立たせてもらっていると言えるのではないかな。

それだけ必要とされている度合いが高いともいえる。

一方、被害者支援に携わっている他の組織、警察をはじめ、検察、法テラス、日弁連、地方自治体等々、それぞれ決しておざなりではなく、自らの専門分野をきちんと押さえて取り組んでおられる。

それでも、被害者に最も近いところで、その心に向き合っているのは我々なのだという自負と責任感をぜひ持ってほしい。そのうえで、公的組織を含め、関連部門が有機的につながった、被害者目線の支援チームを、民間の我々がイニシアチブをとって作り上げていくという気概と能力を磨きたい。

1999年の被害者権利宣言を知っている一般市民は、殆どいない。素晴らしい取り組みは、まだ世の中に知られていない。活動はともすると内に閉じこもり、自己完結するくらいが無いだろうか。

地方の支援センターは、まだまだ資金面でも人材面でも助力を必要としている。

世間の周知を高めれば、新たな社会の協力を得ることができるだろう。ネットワークの主導すべき大事な分野ではないだろうか。